

発表

各班でいただいた未来のまちの姿を
ひとつの図に落とし込みました



まちのコンセプトのテーマ

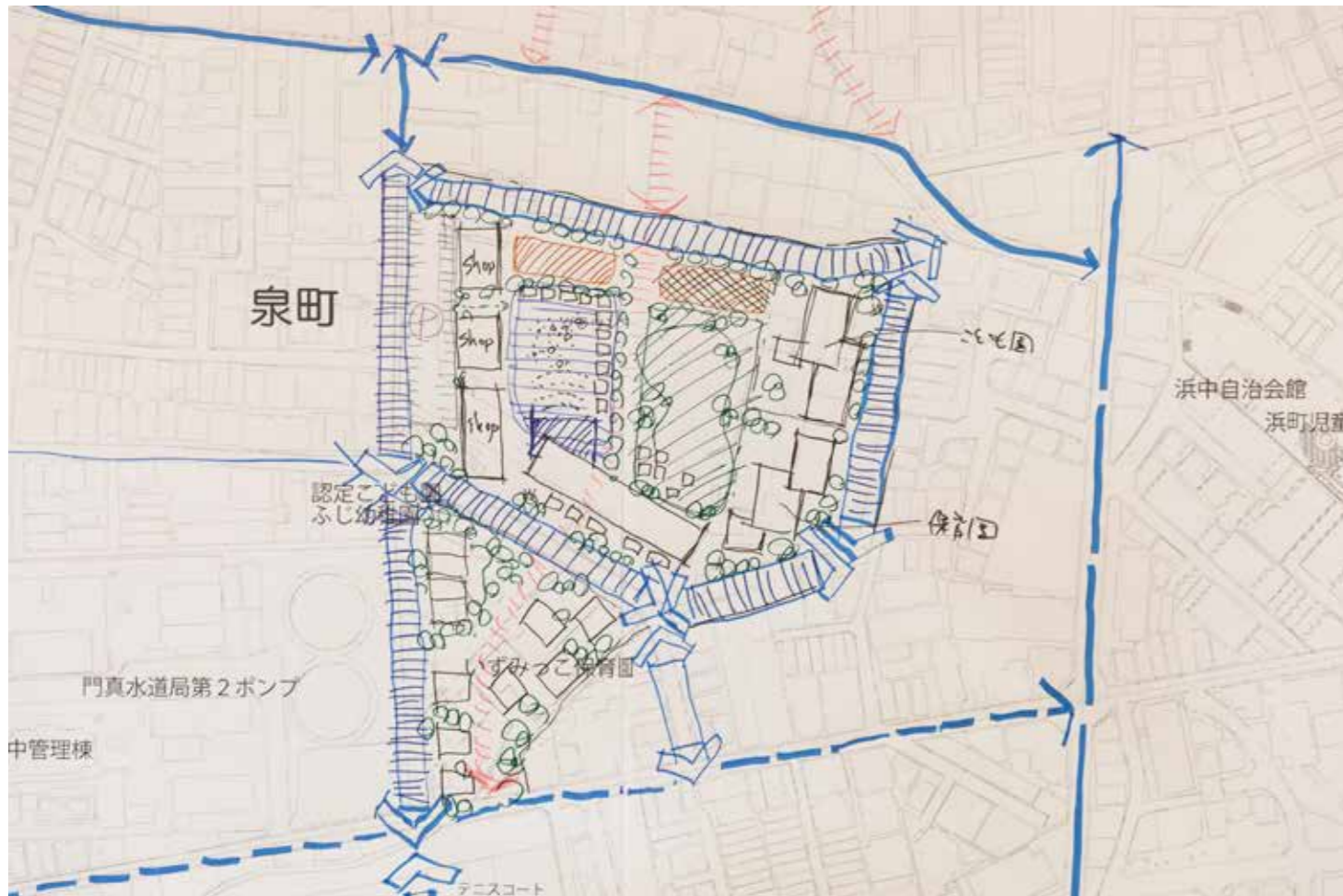
広場

まちづくり・暮らし

防災・安全

教育・子育て

サービス・商業



※この図は今後の議論のための資料であり、これで決定というわけではありません。

未来づくりワークショップ



会場・門真市立門真みらい小学校体育館

未来の小学校跡地の姿を戦略、戦術的に考える

令和 5(2023)年 1月 21日 (土)、門真市立門真みらい小学校体育館において「旧門真市立北小学校跡地未来づくりワークショップ」の第4回目として、「小学校跡地の姿を具体的に考える」を行いました。

はじめに、E-DESIGNの忽那氏と関西大学の木下教授から区画整理、まちづくりに関するインプットレクチャーをおこないました。次に、第3回のワークショップで参加者のみなさんからいただいた「まちのコンセプト」を実現させていく方法(戦略、戦術)を、ワールドカフェ形式で具体的に白地図に落とし込んでいきました。一つのテーマに止まらない、さまざまな参加者の視点からまちのアイデアをいただくことができました。

今後の予定

第5回ワークショップ

令和 5(2023)年 4月 15日 (土)
13:30-16:00
場所は未定です

(仮)キタショウフェスティバル

令和 5(2023)年 5月 14日 (日)
時間: 10:00-15:00 (予定)
旧門真市立北小学校

門真市 HP



インプットレクチャー



E-DESIGNの忽那氏と関西大学の木下教授から日本各地、シンガポールの土地区画整理、ハード（建物など）だけにとどまらないソフト（人づくり）の継続的なプランニングの必要性をレクチャーしていただきました。



ワーク1:まちのコンセプトについて考えてみよう

令和4(2022)年12月3日(土)のワークショップでいただいた「まちのコンセプト」アイデア

<p>交流について</p> <p>同窓会ができる場所 定期的なイベントの会場に人が集まる 人の輪が広がられる場所に 時代別交流（むむむ） 世代間交流のため みんなが集まれるような集まる場所がある 若者（大学生）のつながる場所 高齢者の方と子どもをつなげる体験ができる場所</p>	<p>文化・歴史について</p> <p>船や鉄道の機械を残す場所 歴史を大事にした いままでの心の思い出も残してほしい 地域に誇りを持ってきた文化を継承できる場所 アムステルダムのような場所 文化向上（文化不毛の継承といわれている） 知らない文化に出会える 高齢者が子どもたちに伝えたいことを伝える 言葉のあふれる空間 多くの世代で楽しめる場所 学校の一部を残す、歴史</p>	<p>商業・経済について</p> <p>商業施設 ゾーンの画 商業施設 一かきな商店街的な場所で中庭のようなものができるといい場所 空間の創出 人、行商、企業のマッピング活用 門前にもっと中小企業の集まる場所</p>	<p>まちづくりについて</p> <p>みんなが帰ってこれる場所 おじさんが集む飲食店 親よくローカルな場所 みんなが帰ってこれる場所 みんなが帰る場所 みんなが帰る場所 みんなが帰る場所 子どもと高齢者が仲良く暮らせるまち 緑に囲む、家、友人 緑地を知り、いい環境で 子ども園の建設、専門学校の新設、若者が集まる街 門前全体のモデルケースとなるような場所</p>
<p>駅前・駅周辺について</p> <p>まちの中心を 駅周辺の空き家を借り込んで 暮らして欲しい 高齢者や子どもたちが安心して暮らせる街に 災害に強い小規模 何かあれば、何があっても、安心感</p>	<p>自然・緑について</p> <p>実験場（水耕栽培など） 住居環境・地域集まる（こま、シンガポ、緑） 森と水 自然を育てる門前 高層ビルと公園</p>	<p>子育て・育児について</p> <p>子育てを実現できるイベント 子供が遊べる場所 子どもたちがのびのび遊べる場所 不安定な、緑の環境 より子育てしやすい、助け合える街 母子家庭、父子家庭を援助できる場所に 親の子どもたちが抱えている問題を解決できる場所に</p>	<p>健康・スポーツについて</p> <p>健康・スポーツについて 教室の活用 広い公園</p>
<p>目的について</p> <p>大学から脱却して、学生が門前に来る場所であってほしい 学生が子どもに教える場 勤労を勉め合う、地域集まるの場として教育と生活圏を学ぶ 学生がらの遊び場 学びの場</p>			

まちのコンセプト案 ※あくまでも案です

- 人とつながるまち
- 歩きたくなるまち
- 安心して暮らせるまち
- 文化をひきつぐまち

第3回のワークショップ「どんなエリアにしたいか、まちのコンセプトを考えよう」でいただいたご意見をテーマごとに分類しました。仮となるまちのコンセプトのたたき台を、参加者のみなさんに提示し、以下のような追加コンセプトをいただきました。

- 共振するまち
- 自然・農業
- 交通が便利
- のびのび暮らせるまち
- 新旧が交わる街
- 活気あるまちへ
- ワクワクするまち
- スポーツ（グラウンドの週・日替わり利用）
- 高齢者の健康寿命の延伸
- 豊かな生活を創る
- 住み続けたいまち
- ゆっくり、楽しい ウォーカブル

- 歩いて動けるまち
- 綺麗なまち（道とか）
- 子育てしたいまち
- 緑のあるまち
- 子供が遊べる場所
- 賑わいがあるまち
- 循環するまち
- IT教育の実験場
- 多様性のまち 若者が集まるまち 公園のあるまち
- 住みたくなるまち
- カラフルなまち（文化、人種、商業）



ワーク2:まちの姿を具体的に描いてみよう

まちのコンセプトのテーマ

- 広場
- まちづくり・暮らし
- 防災・安全
- 教育・子育て
- サービス・商業



ワーク1で出たご意見を踏まえて、まちのコンセプトのテーマを5つ設定しました。参加者のみなさんが一つのテーマにとどまらず、たくさんの意見をさまざまな視点から出していただくために「ワールドカフェ*」と呼ばれるワークショップ形式を取り、コンセプトを実現するための「戦略・戦術」のアイデアを具体的にまちの白地図に落とし込んでいきました。

*ワールドカフェ形式って？
参加者のみなさんが対話を通じ「気づき」を得ることを目的とした討論の形式の一つです。席の移動を自由にオープンに進めることで発想が豊かになり、意見も活発になり、より多彩なアイデアを得ることができます。

発表



各テーマのファシリテーターがワーク2でいただいたご意見を全体に共有すると同時に、忽那氏が各テーマの意見を整理し白地図に具体的にゾーニングしていきました。